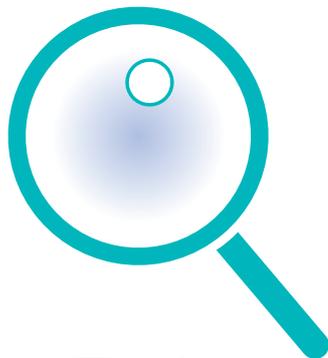




一般財団法人 橋梁調査会

Japan Bridge Engineering Center



あなたも橋梁ドクターを  
目指しませんか？



# ABOUT

## 一般財団法人 橋梁調査会

一般財団法人 橋梁調査会 (J\_BEC) は、橋梁に関する技術、経済、環境その他の問題についての調査研究、知識の普及を行い、橋梁事業の円滑な発展を図ることによって、国民経済の発展と国民生活の向上に寄与することを目的として設立された法人です。

営利法人である株式会社等と異なり、施設管理者や施設利用者に対するサービスの提供が第一目標です。

そのため、橋梁に対して、あるいは業務に対して、橋梁技術者としてこだわりをもった仕事をすることができます。

### OUR WORKS 業務

## 皆様が経験できる高い技術業務

### OUR WORKS 業務

#### 橋梁診断業務

業務では橋梁診断員として、自ら現地にて診断に必要な情報を収集したうえで、橋の診断を行います。また、道路管理者の最終的な判断や意思決定のための支援を行います。さらに、詳細・追跡調査、補修補強計画支援、橋梁管理カルテ等のデータ整備支援等を行います。

#### 新技術導入促進

橋梁調査会は国土交通省道路局と連携して新技術の活用に必要な技術基準類の検討や技術の実証を行うための導入促進機関となっています。橋梁の点検支援技術に求められる要求性能（リクワイヤメント）を検討し、技術の公募を行っています。応募技術に対し、各種試験を行って性能を確認し、点検支援技術性能カタログの作成支援を行っています。

#### 道路施設点検データベース

平成 26 年度より法令化された定期点検の実施により、道路管理者ごとに様々な仕様で膨大な点検・診断のデータが蓄積されています。その蓄積されている道路施設の点検・診断データを、道路施設ごとにデータベース (DB) 化して共有することにより、一元的に処理・解析が可能な環境を構築します。橋梁調査会は、道路橋分野の DB 管理運営機関として、国土交通省道路局より指定を受けています。

#### 点検技術者の育成

道路橋点検の実務に積極的に携わろうとする意欲的な技術者を募集し、「橋梁定期点検要領」の習得を目的とした「道路橋点検士技術研修会」を定期的に開催しています。また、道路管理者向けに道路橋点検技術講習会を同時開催しています。

#### 自治体支援業務

地方自治体の抱える橋梁のメンテナンスをはじめとした様々な課題に対し、健全度判定会での助言、現地調査・現地研修での助言、措置が必要な道路橋に対する対策方針に関する助言などの支援を実施しています。

# 私たちの業務について

### OUR WORKS 業務

## 私たちの業務

- 受託業務
  - ☑ 8つの地方整備局管内の橋梁診断業務
  - ☑ 診断結果を受けた、維持管理策定に関する業務
  - ☑ 総合評価方式等の発注方式における発注者支援業務
  - ☑ 自治体の実施する診断へのアドバイス業務
  - ☑ 点検支援技術の導入促進業務
  - ☑ 道路橋データベース改良業務
- 橋梁技術の開発・収集・普及
  - ☑ 橋梁技術に関する研究開発助成を行っています。
  - ☑ 橋梁に関する国際会議等に参加し、最新情報の収集を行います。
  - ☑ 橋梁シンポジウムなど橋梁技術に関する講演会を開催しています。

# 未来の安全を担う人物像

日本でくらす人すべての資産である橋を安全・安心に利用し続けられるようにメンテナンスする — その一端である診断を担う橋梁ドクターになりませんか。

診断は自身の技術と経験を活かして実施することから、当面は実践を通じた勉強・訓練が中心になるかと思えます。そんな中、洞察力や説明力を磨いて個性と技術力が向上できるようサポートしますので、これからの担い手としてやりがいをもって従事できる方を求めています。



# 若手技術者の1日

四国支部 住友 優太  
(入社2年目)

## 【志望動機】

以前は橋梁点検業務に従事していましたが、診断業務に同行したことで仕事内容に興味を持ち、橋を健全な状態で保ち、住民の生活基盤を支えていくための大切な仕事に就けると思いました。

## 【経歴】

工業高等専門学校卒業後、同専攻科を卒業し学位取得。建設コンサルタント会社勤務を経て橋梁調査会に入社。

## 現地調査

- 9:00 現地 KY 活動に参加(点検時の留意点等)
- 10:00 現地検査
- 12:00 お昼休み
- 13:00 現地検査
- 16:30 終礼(明日の予定を確認)

## デスクワーク

- 9:00 出社、メールチェック
- 10:00 現地撮影した写真を整理
- 12:00 お昼休み
- 13:00 診断所見の記入
- 15:00 判定会議用の資料を作成
- 17:30 退社



## 知識を増やし、経験に活かす毎日

診断の業務を始めて2年ほどですが、わからない事がまだまだ多く大変です。しかし、職場の風通しが良く、皆さん雑談にも気軽に応じてくれます。また、そのように話しやすい環境にあるため、業務上の不明な点等が発生しても質問をすれば経験豊富な先輩方が丁寧に教えてくれます。

橋梁診断は生活に密接している橋を守っていくことで、地域貢献が実感できる仕事です。

就活は自分のやりたい事は何かを考える良い機会です。悔いの無いように頑張ってください。



# 橋梁調査会の強み・特徴

# 橋梁調査会について

## 橋梁のプロフェッショナル集団

橋梁調査会はその名の通り、社会インフラのなかでも道路橋に係る技術に特化したプロフェッショナル集団です。国は、社会インフラの維持管理を点検－診断－措置－記録といったメンテナンスサイクルの確立を掲げていますが、橋梁調査会は特に診断に強みを発揮する集団です。

## 新技術・新分野への展開

昨今の社会情勢をみれば、働き手は減少傾向にあるのは否めません。橋梁調査会では橋梁診断の経験を活かして、点検や記録といった関連する業務の効率化・省力化に寄与するため、点検支援技術の導入促進や道路橋データベースの管理運営にも取り組んでいます。

## 資格保有者

プロフェッショナルを自任するには研鑽を積まなければならない部分も当然ありますが、未取得者は現有職員でフォローしていきます。



## 資格の運営(道路橋点検士制度)

橋梁調査会では、「道路橋点検士」資格の運営を行っています。この資格は、国が管理する橋梁を点検するために必要な「登録資格(公共工事に関する調査及び設計等の品質確保に関する技術者資格)」に該当します。



## 高いワークライフバランス

職員の平均有給休暇取得日数は 12 日です。月平均所定外労働時間は 7 時間ですが繁忙期に偏る傾向があります。夏期休暇は取得対象期間中(6～10月)に最大 7 日間\* 取ることができるので、有意義な休暇がとれます。  
\*勤続年数ではなく、採用時期によります。



# 橋梁調査会の魅力

- 1**  
国内トップレベル  
**技術力**
- 2**  
国土を維持する  
**社会性**
- 3**  
企業にはない  
**安定性**

業務の性格上、技術士または RCCM を保有している職員は 8 割を超え、対外的に客観的な高評価をいただいています。

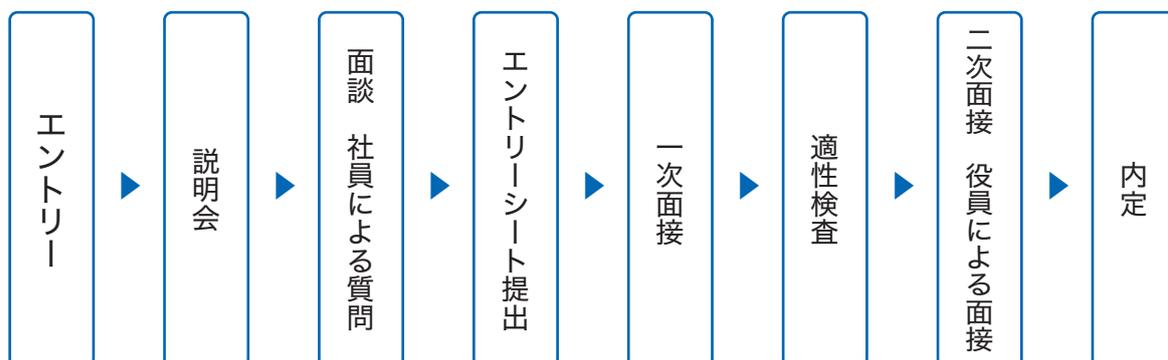
業務は道路管理者とのコミュニケーションを図りながら進めて行く機会が多く、管理者の考え方を理解することで高い社会性が身につきます。

高い技術力と社会性によって、安定的な企業運営が継続できています。



## 応募方法・選考

橋梁調査会を知るところから、橋梁ドクター候補となるまでの流れです。



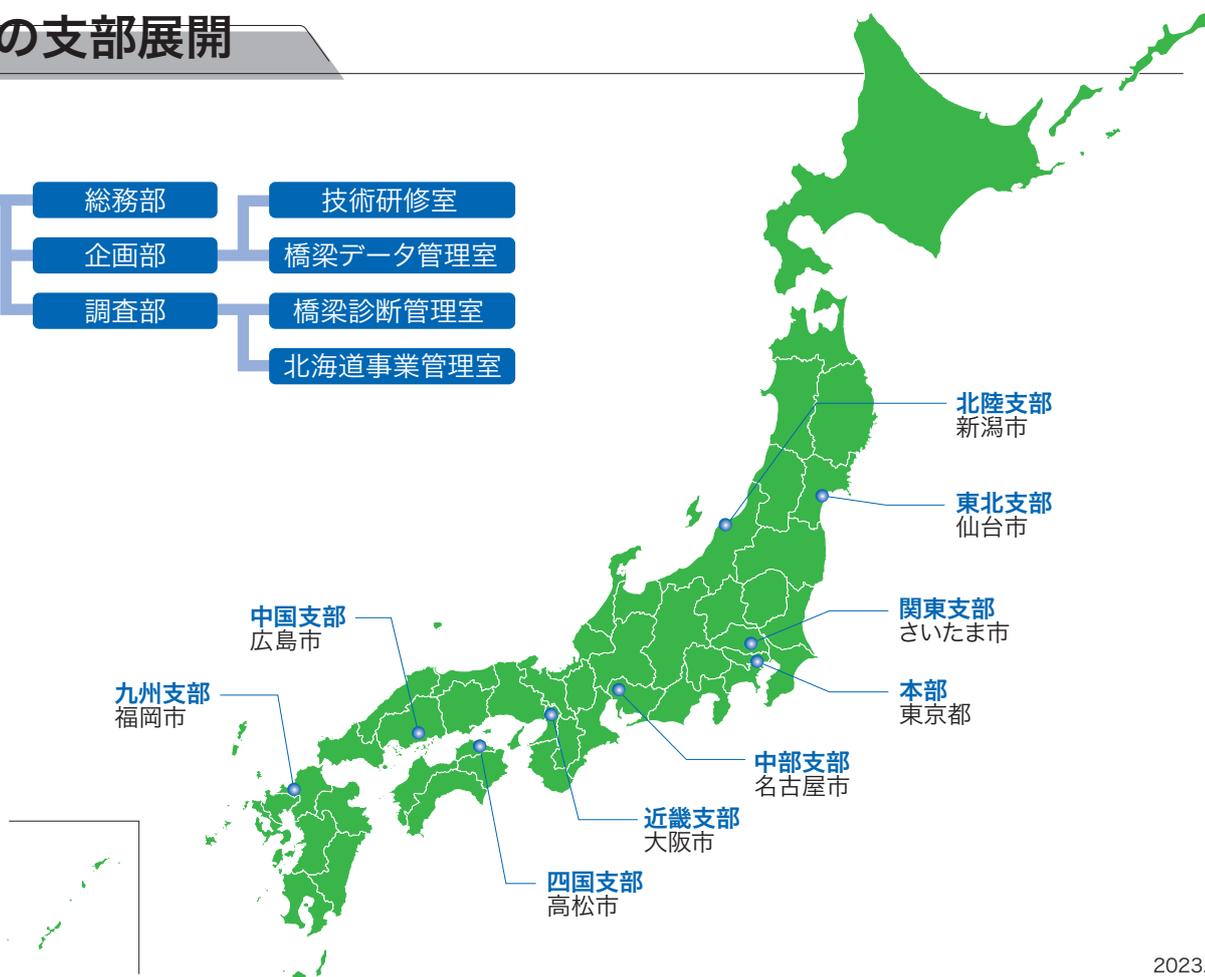
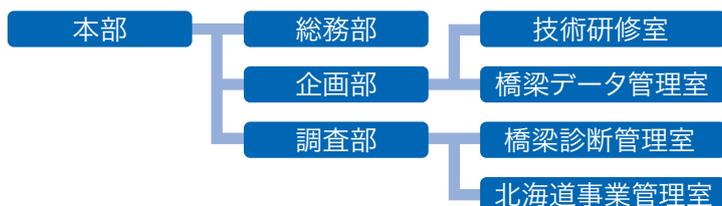
## 当財団の概要・福利厚生

従業員	136名
設立年月日	1978年4月3日
資本金	1億円
売上高	21億3千万円 (2022年3月31日決算)
主な取引先	国土交通省・地方自治体

休暇等	年次休暇20日(4～3月) 夏期休暇7日(6～10月) 各種特別休暇
その他	宿舍借り上げ(人事異動を伴う場合) 資格取得の支援(受験料、登録料、更新料) 奨励金・報奨金 慶弔見舞金等(慶弔見舞金、人間ドック補助、医療費補助)

## 全国規模の支部展開

### 本部組織



2023.12